

試験研究成果普及情報

部門	麦及び雑穀	対象	普及
課題名：べたがけによる「おおまさりネオ」のゆで豆用早期出荷技術			
<p>[要約]「おおまさりネオ」を4月中旬に播種し、開花期まで割繊維不織布でべたがけすることで、8月下旬から収穫でき、標準的な栽培（5月下旬播種、無被覆）と同程度の収量を得られる。また、4月上旬に播種し、開花期まで割繊維不織布と長繊維不織布を二重被覆することにより、同程度の収量で8月中旬から収穫できる。</p>			
キーワード 落花生、おおまさりネオ、ゆで豆、べたがけ、早期出荷			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 落花生研究室	
	協力機関	農林総合研究センター 流通加工研究室	
実施期間	2022年度～2024年度		

[目的及び背景]

「おおまさりネオ」は、極大粒のゆで豆用品種であるが、極大粒品種は成熟期間が長いこと、慣行のゆで豆用品種「郷の香」と比較して収穫時期が遅れる。そのため、「おおまさりネオ」の早期出荷を可能とする栽培方法が求められている。そこで、不織布を用いたべたがけにより、「おおまさりネオ」を標準的な栽培（5月下旬播種、無被覆、9月下旬収穫）と同等の収量で、8月から早期出荷するための方法を確立する。

[成果内容]

- 1 「おおまさりネオ」を4月上旬から下旬に播種した場合、播種直後から開花期まで割繊維不織布（ダイオベタロン、(株)イノベックス）でべたがけ被覆すると、無被覆と比較し、地表の気温は1.3～2.3℃上昇する（図1、表1）。また、4月上旬に播種し、割繊維不織布及び長繊維不織布（パスライト、ユニチカ(株)）により二重で被覆した場合、無被覆と比較して地表の気温は3.7℃上昇する（表1）。
- 2 割繊維不織布によるべたがけ被覆で、播種から開花までの日数は6～10日短くなり、割繊維不織布及び長繊維不織布により二重で被覆した場合は13日短くなる（表1）。
- 3 4月に播種した場合、割繊維不織布のべたがけ被覆による収量の増加が認められ、二重被覆では収量はより大きくなる（表2）。
- 4 4月上旬に播種し、割繊維不織布により被覆した場合、8月下旬に収穫できるが、標準的な栽培（5月下旬播種、無被覆）より収量は劣る。一方、4月下旬に播種し、割繊維不織布により被覆した場合、標準的な栽培と同程度の収量を得られるが、収穫時期は9月上旬となる（表2、図1）。
- 5 4月中旬に播種し、割繊維不織布で被覆するか、4月上旬に播種し、割繊維不織布及び長繊維不織布で二重被覆することで、標準的な栽培（5月下旬播種、無被覆）と同程度の収量で、8月からの早期出荷が可能となる（表2、図2）。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域の落花生生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

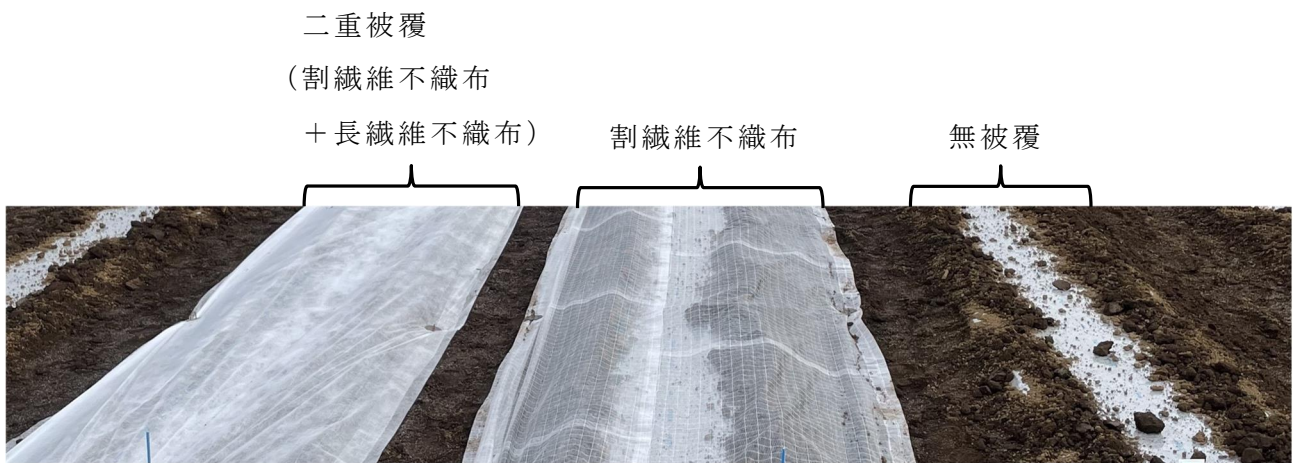


図1 異なる資材によるべたがけ被覆の様子

注) べたがけの裾は土を載せて押さえるか、杭等で留める

表1 ベたがけ被覆の有無と播種時期の違いが「おおまさりネオ」の開花に及ぼす影響（令和4～6年）

年次	播種時期	べたがけ	播種日 (月/日)	気温 (℃)	開花期 (月/日)	開花 日数 (日)
令和4年	4月上旬	割繊維不織布	4/11	19.7	5/30	49
		無被覆	4/11	18.4	6/7	57
	4月中旬	割繊維不織布	4/18	20.5	6/3	46
		無被覆	4/18	19.1	6/11	54
	4月下旬	割繊維不織布	4/26	20.5	6/8	43
		無被覆	4/26	19.2	6/18	53
令和5年	4月上旬	割繊維不織布	4/10	20.0	5/23	43
		無被覆	4/10	18.5	6/2	53
	4月中旬	割繊維不織布	4/18	20.6	5/28	40
		無被覆	4/18	18.6	6/7	50
	4月下旬	割繊維不織布	4/25	21.4	6/3	39
		無被覆	4/25	19.1	6/10	46
	5月下旬	無被覆（対照区）	5/25	23.1	7/2	38
令和6年	4月上旬	割繊維不織布	4/11	20.6	5/22	41
		無被覆	4/11	18.8	5/31	50
		二重被覆（割繊維＋長繊維）	4/11	22.5	5/18	37
	4月中旬	割繊維不織布	4/18	21.4	5/28	40
		無被覆	4/18	19.7	6/5	48
	4月下旬	割繊維不織布	4/26	22.1	6/4	39
		無被覆	4/26	20.2	6/10	45
		5月下旬	無被覆（対照区）	5/23	23.3	6/30

- 注1) 耕種概要：基肥 化成13号（N3-P10-K10）100kg/10a、2条マルチ栽培、
条間45cm、1本立ち
2) 試験区：1区40株、3反復
3) 気温は地表2cmにおける、播種後から開花期までの平均。ただし、4月上旬
から4月下旬播種、無被覆における気温は、同一播種日の割繊維不織布区の開
花期までの平均
4) 開花日数は播種から開花までの日数

表2 ベたがけ被覆の有無と播種時期の違いが「おおまさりネオ」の収量に及ぼす影響（令和4～6年）

年次	播種時期	べたがけ	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	収穫日 (月/日)	開花期～ 収穫日 (日)	総莢重 (kg/10a)	製品重 (kg/10a)
令和4年	4月上旬	割繊維不織布 無被覆	4/11	5/30	8/29	91	1,798	195
			4/11	6/7	9/6	91	1,725	124
			ns				*	
	4月中旬	割繊維不織布 無被覆	4/18	6/3	9/2	91	2,286	355
			4/18	6/11	9/6	87	1,622	219
			*				*	
4月下旬	割繊維不織布 無被覆	4/26	6/8	9/7	91	1,945	393	
		4/26	6/18	9/16	90	1,739	274	
		ns				*		
令和5年	4月上旬	割繊維不織布 無被覆	4/10	5/23	8/21	90	1,774	284
			4/10	6/2	8/31	90	1,448	195
			ns				*	
	4月中旬	割繊維不織布 無被覆	4/18	5/28	8/25	89	1,954	345
			4/18	6/7	9/5	90	1,796	248
			ns				*	
4月下旬	割繊維不織布 無被覆	4/25	6/3	9/1	90	2,102	359	
		4/25	6/10	9/7	89	1,731	318	
		*				ns		
5月下旬		無被覆 (対照区)	5/25	7/2	9/28	88	2,359	374
令和6年	4月上旬	割繊維不織布 無被覆 二重被覆 (割繊維+長繊維)	4/11	5/22	8/20	90	2,219	273
			4/11	5/31	8/29	90	1,747	225
			4/11	5/18	8/15	89	1,905	400
			*				*	
	4月中旬	割繊維不織布 無被覆	4/18	5/28	8/26	90	2,131	378
			4/18	6/5	9/3	90	2,151	272
		ns				*		
4月下旬	割繊維不織布 無被覆	4/26	6/4	9/2	90	2,327	425	
		4/26	6/10	9/9	91	1,827	303	
		*				*		
5月下旬		無被覆 (対照区)	5/23	6/30	9/30	92	1,865	336

- 注1) 耕種概要：基肥 化成13号 (N3-P10-K10) 100kg/10a、2条マルチ栽培、条間45cm、1本立ち
 2) 試験区：1区40株、3反復、各区につき10株調査
 3) 総莢重、製品重は生莢における調査結果
 4) nsは同一播種日における分散分析の結果、5%水準で有意差無し、*は5%水準で有意差有り
 5) 製品重は脱莢、洗浄後の生莢を、レトルト落花生の選別基準に基づき選別した、シミ、病虫害が無く、未熟でない莢の重量

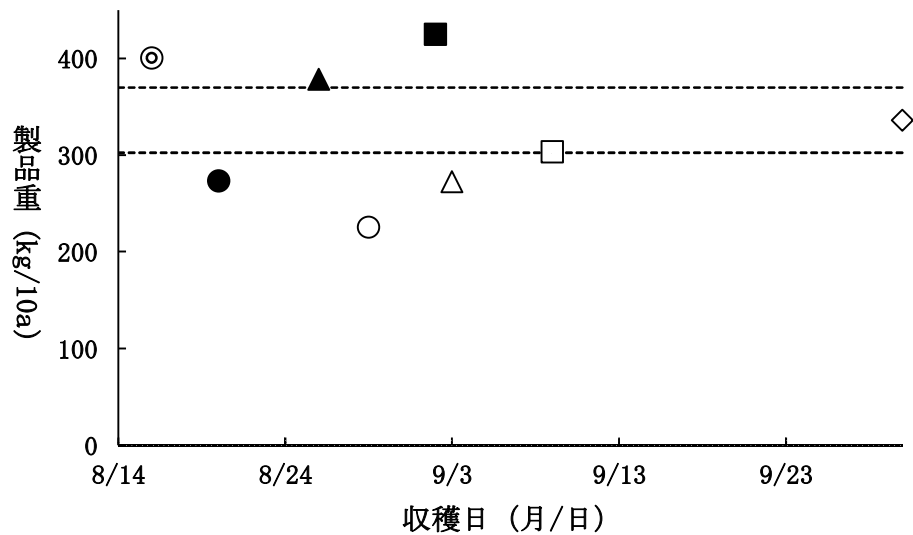


図2 ベたがけ被覆の有無と播種時期の違いが「おおまさりネオ」の製品重及び収穫期に及ぼす影響（令和6年）

注1) ●○：4月11日播種、▲△：4月18日播種、■□：4月26日播種、◇：5月23日播種（対照区）、◎：4月11日播種・二重被覆、黒塗りはべたがけ有（割繊維不織布）、白抜きは無被覆区

2) 上側の破線は対照区の製品重110%、下側の破線は対照区の製品重90%を示す

[発表及び関連文献]

令和7年度試験研究成果発表会（作物部門）

[その他]

本課題は、県単プロジェクト「魅力ある千葉県オリジナル品種の早期育成及び普及促進（オリジナル品種プロ）」の一環として行った。